

# IN ACTION

川崎市市民ミュージアムインフォメーション

第4号 2026.3

トントクシムム

Kawasaki City Museum Information



FREE PAPER

Vol.4



# IN ACTION

中原区等々力にある川崎市市民ミュージアムの旧施設は閉鎖しました。現在は「IN ACTION (活動中)」をテーマに、市内の他施設やオンライン等でアウトリーチ形式での展覧会やワークショップを開催しています。

川崎に拠点を置く日本鋼管(現・JFEスチール株式会社)では、リンを含む鉄鉱石の利用を目的とした製鋼炉であるトーマス転炉(19世紀後半にイギリスのシドニー・G・トーマスによって発明)を1937(昭和12)年に2基、1941(昭和16)年に3基を導入。重量約62トン、高さ7.1メートルの同炉は、1957(昭和32)年まで京浜製鉄所で稼働し、京浜工業地帯の発展に重要な役割を果たしたのみならず、日本の鉄鋼生産を成長させる基礎を築きました。1988(昭和63)年の当館開館にあたり設置され、以降当館はもちろんのこと、等々力緑地においてもその存在感は大きいものでした。

トーマス転炉の  
これまでとこれから



令和元年東日本台風による被災のため、等々力緑地の当館旧施設は2025(令和7)年3月末をもって閉鎖され、これに伴い同炉は分解・取り外し作業が行われ、同年9月下旬の深夜、等々力緑地から川崎区南渡田のJFEスチール株式会社の敷地内に移送され、組立・設置されました。



撮影：伊奈英次

この敷地は、同社が公園として整備を予定している場所にあたります。京浜工業地帯の発展史を物語る貴重な資料としてトーマス転炉を保存し、新たな公園で市民の皆様へ歴史を感じてもらえるよう、現在、同社と協力して準備を進めているところです。



旧ミュージアムの中庭に設置されていたトーマス転炉



開催日時：令和7年11月8日(土)～12月21日(日)  
会場：向ヶ丘遊園中和ビル

収蔵作家のひとりである英伸三の展覧会を開催しました。英伸三(1936-)は1960年代から写真家として活動し、戦後の繁栄と発展の裏側に潜むものを丁寧に読み解くことで、諸問題が複合的に絡み合う日本社会の姿を浮き彫りにする作品を制作しています。本展では《農村からの証言》や《盲人—その閉ざされた社会》など67点を紹介しました。会場ではモノクロ作品の美しさに見入り、ゆっくりと鑑賞するお客様の姿が印象に残っています。本展の出品作品と論考を掲載した図録はオンラインショップにて販売していますので、ぜひご覧ください。

中野可南子(学芸員)

川崎市市民ミュージアム  
オンラインショップ



展覧会「英伸三 映像日月抄」  
そのときのあのことあのときのそのひと」を  
開催しました

令和7年12月、市民ミュージアムは川崎市高津市民館での「やさちいきのひろば」に出張参加してきました。「やさちいきのひろば」は国産木材の利用を推進するイベントで、高津市民館ではファミリーを対象に月1回のペースで開催されています。私たちは、当館所蔵の博物館資料「画図百鬼夜行」や「今昔百鬼拾遺」に登場する妖怪をモチーフにした3種類のパズルを楽しんでもらうワークショップを実施。子どもたちの何人かは難易度高めのパズルでもすぐに完成させて、大人たちを感心させていました。遊びを通して、対象をじっくり観察する力を育むことができたのではないのでしょうか。このパズルは今後も活用予定。チャレンジをお待ちしております!

「やさちいきのひろば in 川崎市高津市民館」に出張



妖怪「ぬつへふほふ」のパズルにチャレンジ



会場の様子



3種類のパズル



東京多摩地域産の杉材

多摩区生田緑地に開館予定の新たなミュージアムでは、収蔵品の幅広い活用や自由な視点での鑑賞を実現する空間として、収蔵庫展示の実施を予定しています。収蔵庫展示は、思考力や創造力を養う場とすることや、テーマによる縛りを設けず、常設展示や企画展示で公開しきれない収蔵品を紹介する場となることを目的としています。また、普段は入ることのできない収蔵庫内を巡るバックヤードツアーを開催し、学芸員の仕事内容も紹介します。

みんなであつくりよう!  
新たなミュージアム

# IN ACTION Vol.4

# 天体戦士サンレッドN × 市民ミュージアム 川崎市 コラボ版

川崎に鉄の巨人現る! 作:くぼたまこと

ヒーローの対戦相手としても欠かせない存在—  
またいつか戦えるといいね!

「天体戦士サンレッドN」とは、川崎市高津区あたりで繰り広げられる正義と悪の戦いの物語である!  
(しかし怪人たちと正義の味方は普段は川崎市民として生活をしている)

『ヤングガンガン』(スクウェア・エニックス)にて、2004年創刊号から2015年1号まで「天体戦士サンレッド」として連載された。  
続編の「天体戦士サンレッドN」を作者の自費出版で製作。2019年9月に電子書籍、2020年1月に書籍版を発売。



●次の日ヴァンプもインフルに罹ったそうです

「作者コメント」 僕も川崎市市民ミュージアムといえばトーマス転炉が一番に頭に浮かびます。鳥山明さんの展示会(確か)の際に  
実物を見た時の情景が今でも目に浮かびます。

**サンレッド**  
正義の味方なのに柄が悪い  
いつも普段着

**ヴァンプ**  
悪の組織フロロシャイムの将軍  
お人好し

**戦闘員1号2号**  
ヴァンプと怪人たちの  
補佐役

**トーマス転炉型の怪人**  
必殺技は  
アイアンボールケーン

今回表紙を飾った当館のシンボルの存在であった「トーマス転炉」とも、ついにお別れの時を迎えることとなりました。長年にわたり多くの市民に親しまれてきたその姿は、私たちの心に深く刻まれています。「トーマス転炉」がそうであったように、新しい施設にもまた、市民に愛され親しまれる新たなシンボルが生まれることを願ってやみません。  
さて、『IN ACTION』は初回特別号の発行から数え、今号で第5号を迎えることができました。今後の編集作業の参考とさせていただくため、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。  
皆様からお寄せいただく貴重なご意見・ご感想を心よりお待ちしております。